

平成30年8月末発行

# 諏訪町ポンプ場 工事だより

橋本店・河北建設・長谷川建設  
共同企業体



○当工事現場のホームページを開設しております。  
<http://hashimototen.ninja-web.net/suwa/>



現場代理人 村山英明

こんにちは。近隣の皆様には、日頃よりご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

9月に入り朝晩の気温が下がり過ごしやすくなりましたが、残暑はもう少しありそうですね。皆様におかれましては、気温の変動によって体調を崩さぬようご自愛下さい。  
現在施工している地中連続壁工事も終盤となり、10月初旬には完了する見込みとなりました。

10月からは、地盤改良工(薬液注入工)の施工に変わります。  
地中連続壁も地盤改良工(薬液注入工)も安全に掘削して、ポンプ場を構築するために欠かせない機能です。水深10mの水圧は1Kg/cm<sup>2</sup>であり、1mの四角形(1平方メートル)では10tの水圧がかかります。この水圧に対抗するのが地中連続壁工や地盤改良工(薬液注入工)であり、私たちが安全に作業するためには必要不可欠なものといえます。

工事はまだまだ続きますが、これからも何卒よろしくお願いいたします。

工事現場へ興味のある方、見学を希望する方、いつでもご案内いたします。お気軽にお声掛け下さい。

橋本店・河北建設・長谷川建設JV 諏訪町ポンプ場現場事務所 村山英明 TEL 022-226-8212

工事進捗率

34.0%

## 地中連続壁工の状況

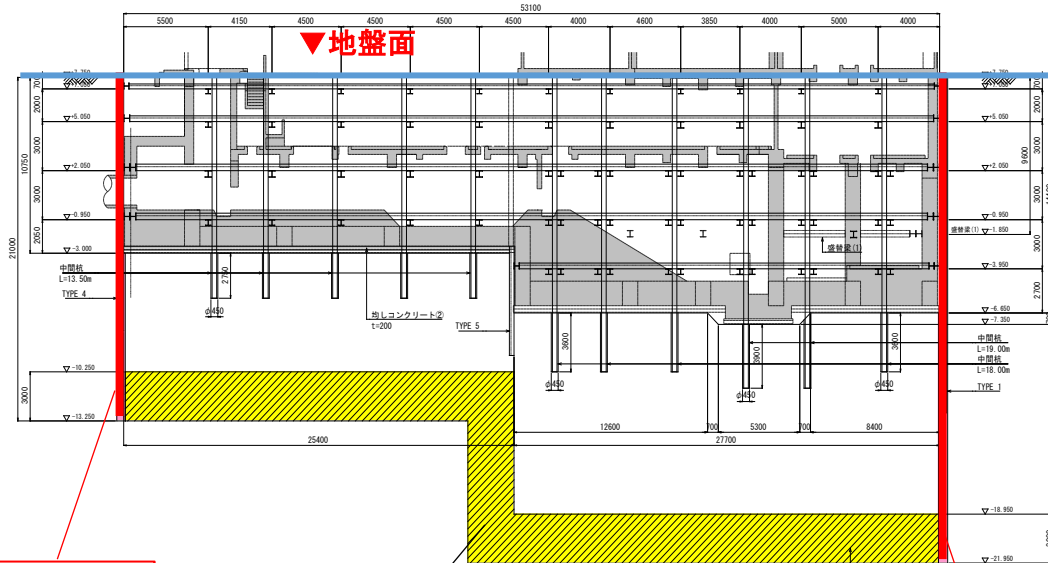
現在施工中の地中連続壁工事は、青色箇所(青色箇所)の施工を行っています。  
当初5軸式の錐で施工していましたが、7月中旬、土質や地下水の影響により単軸式(写真のように1本の錐で施工する)に切り替えています。  
8/31現在残り約13mとなっており、10月初旬に終了する見込みです。



— 施工完了区間  
— 未施工区間

約13m(8/31現在)

## 断面図



地中連続壁工

薬液注入工(地盤改良)

地中連続壁工

地中連続壁工の次の作業は、左の図の黄色で示す箇所の薬液注入工を行います。

薬液注入工は『ダブルパッカー工法』で行いその役割は、ポンプ場地下構造物構築時の地下水流入防止と掘削完了時に底版を地下水圧で隆起させないための対策です。

薬液注入は、ロータリーパーカッションドリルというボーリングマシンで、地上から最大で約30m縦穴(直系10cm)を掘り、地盤改良材を注入します。

この地域の地盤は、非常に固く大きな石も存在しています。このような地盤を掘り下げるために、打撃を加え硬い部分を壊すことがあります。このとき打撃音が発生します。(下の写真のようなコンクリートを壊すときの音のようなイメージです。振動はありません。)



打撃音のイメージ

このような作業で発する『ダダダ……』『パババ……』のような、乾いた打撃音です。



ロータリーパーカッションドリル

現場では、4台稼働します。固い地盤にあたった時、打撃を加えて掘り下げます。

## とほくのことば④「治水の仕事」

洪水や高潮による水害や、地すべりや土石流等による土砂災害から私たちの生命や財産を守るのが治水の仕事です。治水の仕事は、まず、雨量や降雨継続時間(雨が降り続く時間)を想定し、どのような方法で水害や土砂災害を防ぐかの計画を立てます。災害を防ぐ方法として、ダム、堤防、河道掘削、放水路、遊水池などの整備があります。それぞれの整備に必要な費用や時間、河川環境の特徴、沿川地域の歴史や文化、流域住民の方々の意見などをよく調べて、その河川に適した方法を採用していきます。また、整備が進められる間にも大規模な洪水が発生する危険性があるとともに、気候変動等の影響により想定外の多量な雨が降る可能性もあります。万が一氾濫してもできるだけ被害を少なくするために、防災に関する情報を住民の方々に的確にお知らせすること、安全に避難できるように住民を誘導すること等も治水の重要な仕事です。こうしたいろいろな場面で活躍するのが土木の技術であり土木の技術者です。